

夢の実現へリニア中央新幹線 市民とともにリニアのまちづくり アンケート調査の結果③と親子バスツアーの参加者募集

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

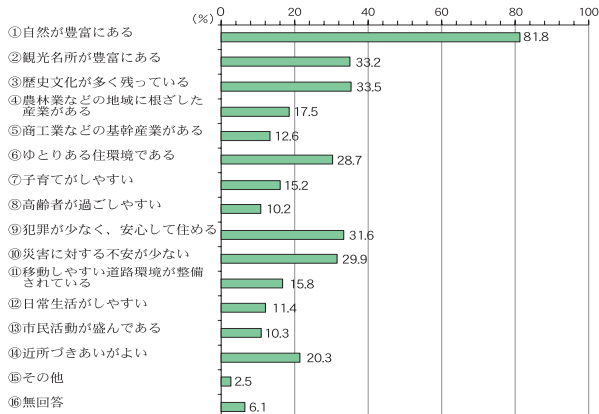
先月に続き、「リニアのまちづくり」に向けたアンケートの市民アンケート調査の結果（市の魅力に関すること）と「リニア・鉄道館」親子バスツアーの参加者募集についてお伝えします。

問 リニア推進課（☎内線324）

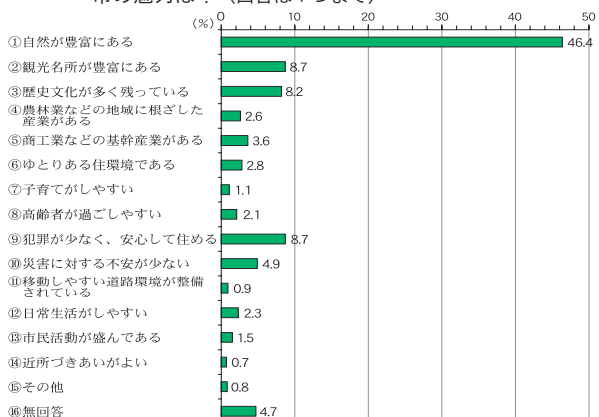
市民アンケート調査の結果③

現時点での他の地域に伝えたい市の魅力を尋ねる設問については、「自然が豊富にある」の回答が最も多く、次いで「歴史文化が多く残っ

グラフ1 現時点での他の地域に伝えたい市の魅力は？（回答は5つまで）



グラフ2 リニア時代に残しておきたい、あるいは高めたい市の魅力は？（回答は1つまで）



ている「観光名所が豊富にある」「犯罪が少なく、安心して住める」が上位に挙げられました。（グラフ1参照）また、若い世代ほど「自然が豊富にある」ことが現時点での市の魅力だと答えています。

次に、リニア時代に残しておきたい、あるいは高めたい市の魅力を尋ねる設問については、4割を超える方が、身近にある山や川などの「自然が豊富にある」ことを残しておきたいと回答され、次いで街道や景勝地など「観光名所が豊富にある」「犯罪が少なく、安心して住める」、伝統的な「歴史文化が多く残っている」

ことなどが上位に挙げられ、リニア時代に残しておきたい市の魅力も、前問と同様な傾向となり、若い世代ほど「自然が豊富にある」ことをリニア時代にも残しておきたい市の魅力だと答えています。（グラフ2参照）次に、市内の日常交流の状況について、目的別（①通勤・通学、②買い物、③通院、④親戚・知人訪問、⑤外食、⑥レジャーなど）の主な行き先を尋ねる設問では、日常の買い物や通院などは市中心部や恵那市中心部が多くなっており、親戚・知人との交流は、自地域内や隣接地域内が多いことが分かりました。

リニアが開業しても、日常交流への影響は大きくないと考えられますが、観光やレジャーなどの非日常的な余暇活動などには影響があると考えられます。

これまでの、市中心部が交流の拠点となっていました、その一部がリニア駅へ移るなど、地域構造にも変化を及ぼすことが想定されます。

第4回リニアのまちづくり

ビジョン策定委員会開催

とき 2月18日(月) 14時～

ところ 健康福祉会館

※傍聴を希望される方は13時30分～13時50分の間に会場入口にて受付をお願いします。

（定員20人程度・先着順）

リニア市民の会「リニア・鉄道館」親子バスツアー参加者募集

リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会では、将来を担う子どもたちに、リニア関係施設の見学を通して、リニア中央新幹線の理解を深めていただくため、小学生対象の親子バスツアーを開催します。

開催日 3月17日(日)
集合 8時市役所正面玄関前
見学先 JR東海リニア・鉄道館 名古屋科学館

対象および定員 市内在住の親子で小学生（2人まで）と父母のいずれか（1人）計40人（15組程度）

参加費 無料

主催者負担 バス代、リニア鉄道館の入館料および名古屋科学館観覧料（展示室のみ）

参加者負担 右記以外の料金（電車運転体験、プラネタリウム観覧料など）

※昼食は各自負担。弁当持参可。

応募方法 ハガキによる申し込み

親の住所・氏名・電話番号、小学生の氏名・学校名・学年を明記

※応募は一世帯につき一通まで。

応募締切 2月15日(金)当日消印有効

応募者多数の場合は抽選。抽選の結果は、2月末までに応募者へ通知します。

応募先 〒508-8501（住所不要）

中津川市リニア推進課

リニア市民の会親子見学会宛

問 リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会事務局

（☎内線324）